【北海道伊達市　指定文化財台帳】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指定主体 | 伊達市 | 指定番号 | 第２号 |
| 名　　称 | きゅうだてていていえん<br>旧伊達邸庭園 | 員　数 | 1 |
| 指定年月日 | 1973（昭和 48）年 12 月 27 日 | 種　別 | 史跡 |
| 所有者 | 氏　名 | 伊達市 | |
| | 住　所 | 北海道伊達市鹿島町 20 番地１ | |
| 所在地 | 北海道伊達市梅本町 61 番地２ | | |

概　　要

仙台藩一門亘理伊達家が 1870（明治 3）年から実施した当地への移住の際に、当主・伊達邦成の邸宅として、当市のまちづくりの拠点になった場所です。土塁に囲まれた庭園内には、迎賓館などの建物や移住以降に植樹された樹木があり、当時の風情を色濃く残しています。

旧伊達邸庭園は周囲を土塁と川で囲まれています。また、門から邸宅までの道はクランク状に折れ曲がっているなど、「城郭」のような造りが見られます。

これまでの研究では、国内最後の城郭的な施設は、1868（明治元）年に築かれた厚沢部町の国指定史跡・館城であるとされてきましたが、旧伊達邸庭園の土塁は 1871（明治 4）年前後に築かれたと考えられることから、日本国内最後の城郭的施設であると言えます。